

令和2年度土居町地域づくり協議会議事概要

- 1 会議名 令和2年度土居町地域づくり協議会
- 2 日時 令和3年2月9日(火)午後2時00分～4時30分
- 3 会場 土居文化会館 大会議室
- 4 出席者
 - 委員 委員長 高橋英吉 副委員長 松木博是 江口 忠 江口徹子
近藤節子 松井秀樹 近藤博昭 鈴木良明 続木一雄 森実 信
渡邊和春 豊田耕造 近藤信行 筒井英輝 越智 寧
 - 理事者 篠原市長 市民部長 建設課長 学校教育課長 保健推進課長
子ども課長 高齢介護課長 産業支援課長 下水道課長
地域振興課長
 - 事務局 地域振興課3名
- 5 欠席者
 - 委員 なし
- 6 傍聴者 川上賢孝

協 議 事 項 等

1 会議次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員長、副委員長選任
- 4 議事
 - (1) 事前質問事項について回答
 - ①市道の整備について
 - ②排水路の整備について
 - ③新型コロナウイルス対策について
 - ④小学校の統廃合について
 - ⑤小学校の通学路について
 - ⑥土居西幼稚園の跡地について
 - ⑦高齢者の集う場所について
 - (2) その他
- 5 閉会

2 会議概要

- 1 開会
- 2 市長あいさつ

3 議事

(1) 事前質問項目についての回答

市道の整備について

(担当課より説明)

委員 小富士駐在所から三木自動車までは変則的な道路になっている。この区間は、交通事故が多発しているので、できるだけ直線の道路で整備をお願いしたい。

理事者 委員からご指摘の場所は、把握しているので交通の安全を図るためにもできるだけご要望に沿う形で対応していきたいと考えている。

排水路の整備について

(担当課より説明)

委員 今後、集中豪雨（ゲリラ豪雨）が想定されるが、今までの水量と集中豪雨（ゲリラ豪雨）との水量の差などは検討されているのか。

理事者 集中豪雨（ゲリラ豪雨）は、短期間に局地的な大雨をもたらす。通常の整備基準を遥かに超えるような状況になる。この雨水対策は完全に対応することは難しいが、排水能力や排水区域、到達する時間などを考えながらできる限り軽減できるよう整備を進めているのでご協力をお願いする。

委員 予期せぬ水量の場合、オーバーフローする場所が想定される。そのことを検討しながらでないと排水路の整備ができないのではないのか。

理事者 整備していく場合、広範囲で考えていく必要があるが、どうしても全て整備し直すと時間と労力が掛かるので、既存の水路をバイパスで水を分散していく方法がないかを含め検討をしたい。

委員 ポンプ場を2箇所整備予定であるが、増水時の水量を踏まえたものになっているか。

理事者 2箇所のポンプ場は、過去の最大水量を踏まえて排水対応できる施設となっている。

委員 県担当者と相談したが関川の排水路の件は、集中豪雨で一気に雨が降ると、川底が上がり、水の流れる量が減って堤防が決壊する恐れがある。結果として川下地区（天満、蕪崎）が浸水し危険な状況になってしまう。10年位前に碎石現場の南側が崩れたことがあった。崩れる位ならまだいいが堤防が決壊してそこから水が流れると大変なことになる。市から要望書を出してもらい整備した方がいいと思うのでお願いする。

委員 県に要望をさせていただく。

新型コロナウイルス対策について

(担当課より説明)

委員 新型コロナウイルス感染者と死者の四国4県の状況をご説明する。愛媛県では感染者は1227人、死者は22人、徳島県では感染者は395人、死者は15

人、香川県では、感染者は700人、死者は17人、高知県では、感染者は863人、死者は17人である。

市長の挨拶で、感染者の問題を詳しく話を聞いたが、こうした会合で集まった時には、ほとんどの方がマスクをしているが、外出しているときは、マスクをしていない方多くいるので、市の方から自治会などに提案してマスク着用に取り組んでいただけたらいいのではないかと思う。

理事者 マスク着用に関わらず手洗いやうがい等、基本的なところから感染回避の行動の徹底を周知していきたい。

委員 本人が感染したわけではないのに、医療従事者というだけで、偏見を受けて、その地域で生活が困難な状況になるケースを聞いた。その方は、看護師をしており退職後再雇用で努めていたが、偏見により家庭にも支障が出て退職されたという事例があった。四国中央市では、そのような事例があるのかお聞きしたい。

理事者 そのような事例があるというのは、市にも話が届いている。具体的に宇摩医師会からも「医療機関にコロナ患者を診察しても大丈夫なのか」などの感染者を誹謗中傷する意見が寄せられている。2月の市報で 感染者を誹謗中傷する行為は絶対しないしてほしい旨記事に載せ周知している。

委員 シトラスリボンをお配りしているが、ボランティアセンターの高校生により作られたものである。シトラスリボン運動は愛媛県が発祥で、感染者や医療従事者に対して、差別をなくすことを目的に作られている。作られた意図は、「ただいま、おかえり」と言え、温かい気持ちを広げていこうとする運動である。シトラスリボンには3つの輪がある。家庭、地域、職場で差別のない運動を展開しようとする意味があるので、意図を理解したうえで取組を進めてほしい。

小学校の統廃合について

(担当課より説明)

委員 小富士小学校は学年で平均17.5人が一番少ないと思うが、学年別に、もっと少ないところもあると思うが、一番少ない人数はどの学校で何人か。

また、学校運営協議会ができているところはあるのか。

理事者 1学年16人を切った場合は複式学級となり、2学年併せて学級編成をすることになる。現在土居地域に複式学級はない。

コミュニティスクールがある学校は、学校運営協議会を設置しており、現在土居町では4校設置している。

委員 学校の統廃合は地域の住民より行政の働き掛けがないとできない問題だと思う。篠原市長が8年前市長になられた時、学校の統廃合はやるという考え方を聞いた。その後どうか。

理事者 学校の統廃合は、学校に行き話をして現場にも入り現状を確認した。現在は、保育園、幼稚園を含め対象の児童数は少ない状況である。いろいろな考え方があろうと思うが、私は現在の学校の現状から「学校運営、学級運営」の2つが困難となり、最低限子どもの人数が不足している状態になった時、文部省が進めている複式学級などの対応でいいと思う。少人数であっても地域にとっては大事な学校であるという認識は変わらない。住民の皆さん方が考えるのであれば、学校を存続する方向で検討してほしい。

委員 中学校は、統合された時代から見ると既に4分の1の人数まで減少している。これから5年、6年先はどうなっていくか考えたとき、本当に10数人の学級で子どもたちの教育が十分なのか。行政で学校の統廃合をお願いしたい。

小学校の通学路について

(担当課より説明)

委員 子どもは、地域の宝だと思う。関川地区は、60名ほどで高齢者の集う教室を作り計画しながら活動している。このメンバーで北野、上野校区から関川小学校に通っている子どもたちが多いため、高齢者と小学生と一緒に歩いて通学路の危険な場所を点検できないか考えている。

委員 市内の通学路には、立木がたくさん伸びており、自治会が対応しているところもある。

委員 人口減少及び生徒の減少は行政の問題というより、地域の問題として考えていく必要がある。例えば人口減少については、地域に長く住むための手立てを考えていく必要がある。地域の行政機関では、公民館しかないのだから、公民館でこのことを考えていくよう指導をすればいいと思う。行政に頼らず、自分達で地域を守る意識づくりをしていきたい。

土居西幼稚園の跡地について

(担当課より説明)

意見なし

高齢者の集う場所について

(担当課より説明)

委員 高齢者の集う場所は、以前に施設訪問して皆で手を取り合っ一緒に歌を歌ったり、踊ったりしながら高齢者の皆さんと楽しいひとときを過ごした経験がある。今はできないので寂しい。子どもたちのことが意見として出たが、地域で子どもたちを見守ることが大切だと思う。家の前に花を飾って「交通安全」と書いた張り紙を貼り、子どもたちに、登下校中に「おかえり、いってらっしゃい」という言葉をかけて見守りをしている。

(2) その他

委員 担当課の説明では、公民館の既存施設を利用することや、公共施設等総合管理

計画があり、公共施設の大幅な縮減を掲げている。

天満、蕪崎公民館は、平成 30 年度に市から、公共施設を将来的に削減しないといけないため、公民館を 1 校区 1 つにしたいと話があった。その後、5 回ほど説明会が開かれ「北地区交流センター（仮称）」ができるようになった。

地域としては賛成する人はいない。市に押し切られた形となっている。こうした中、昨年 10 月号の市報を見ると、四国中央市考古歴史博物館が 7 月に建設されたと聞いた。施設を削減しないといけないといいながら、考古歴史博物館に多額のお金をかけている。「小学校 1 校区に公民館は 1 つ」という話の間にこの施設建設を進める期間が重複している時期がある。これは理解できない。

理事者 公民館担当は生涯学習課で、公共施設等総合管理計画担当は政策推進課であり、本日出席していないが、公共施設等総合管理計画の作成については、今年度末に作成見込みで、現在はタウンコメントを募集中である。施設の種別を学校、公民館、集会所ごとに短期、中期、長期で区切り、長期的にどうしていくかを策定中である。歴史考古博物館と公民館とは種類の異なる施設なので、同じ考え方で計画は決められない。

委員 種類が違うのは分かるが、検討期間が重複している。市の政策や各課の説明にあるように、公民館の利用を促進する必要があるのに、公民館を無くす時期にこうした建物を建設している。それがどうしてか聞きたい。この考古博物館と公民館は別の問題というのは分かるが、市の事業としては同じことでないか。

理事者 公共施設等総合管理計画の担当には、ご意見をお伝えする。

理事者 歴史考古博物館は、ユニチャームの高原さんが寄贈していただいたものである。老朽化して古くなっていた。また、11 号線のバイパスを作る際に埋蔵文化財が採掘されたが、展示する場所がない状態だった。埋蔵文化財を四国中央市で貯蔵したり、修復したり、また展示する場所がないため、この施設は、合併特例債の事業として合併時から計画されていた。そして、蕪崎、天満の改修は、四国中央市の大方針として、「小学校の 1 つの校区に公民館は 1 つ」で運営してきたため、現在の北小学校の場所に公民館を統合して建設させていただくことになった。

天満公民館は古く蕪崎公民館の方が使いやすい。天満公民館では 2 階に上がっていく階段は、曲っておりお年寄りがケガをしないか非常に心配だった。文化祭の利用者は、施設内の階段で上り外の階段で降りていた。現状は、古く危険である。

委員 土居町の小林地区と根々見地区の境界で旧道の高橋魚屋の東側の旧道入口から、南へ 20m 位幅の狭い道路がある。これは建設課で拡張する予定があるが大体いつ頃から始めるのか。

理事者 この道路は市道である。現在根々見地区から要望書が出ているが、今後、測量

し用地買収のうえ工事に入る予定である。現在土居地域で改良工事を16件行っており、それらの工事が終わってからこの路線工事を予定している。2年位先になるが、地区の代表者には報告している。

委員 新しい道路ができた後、舗装してもらえる要件を教えてください。

理事者 新設道路を改良した場合は、続けて舗装を行っているが、農道の場合は、「農作業で舗装が必要か」や「周辺が生活道路になっているか」で舗装のタイミングが検討される。

委員 三郎池という池がある。その池を改修時に排水路も新設した。この管理道として当初設置されたが、当時地元の皆さん方に協力を得て4m道路を新設した。管理道の予定であったが、現在は生活道として車の行き来が激しく相当傷んでいる。道路は建設されて3年経過している。根々見は小集落のため資金的に厳しい。市で案があれば教えてください。

理事者 該当する道路がどこであるか教えていただき、道路管理者に相談したい。

～閉会～